

令和3年度 事業報告

ますます進行する人口減少、少子高齢化において、人生百年時代といわれる昨今の現状を踏まえて、地域社会を支える元気な高齢者世代がこれらの問題解決の担い手としてシルバー人材センターへの期待感が大きく膨らみ、その世代に対する役割は年々大きなものになっております。

その中で、二か年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の世界的な規模での拡大により、世界経済並び国内経済・地域経済においても大きな落込みを受け、全国のシルバー人材センターも同様に会員数の減少や事業実績の落ち込みなど、様々な影響を受けたところが多くありました。

当シルバーはこのような状況下において、地域やコミュニティーづくりの担い手として地域社会に貢献することを責務として公益法人であるセンターの重要な役割であるという認識に立ち、令和3年度も「会員拡大」、「女性会員の加入促進」、「就業機会の拡大」を重点に事業加速を実施してきました。

会員数については、昨年のコロナ禍の影響で入会説明会開催を十分にできないことを鑑み、積極的に、入会説明会を開催し女性限定や夜間限定入会説明会を開催した結果、会員減少の懸念を払拭でき、令和元・2年度に引き続き3年連続で増加となりました。新入会者は102名（男性50名・女性52名）で年度末の会員総数は585名（男性365名・女性220名）となりました。

また、女性会員の加入促進については、女性限定入会説明会を昨年度より多く開催したことと、「保育補助及び児童クラブ補助員研修」の実施、さらには女性会員を特集した情報誌「しるばあば」を市内全戸配布した波及効果などにより、女性会員の増加にも繋がりました。

事業実績については、請負・委任業務では、屋内清掃・消毒業務、荷物発送準備業務などの増加により、契約金額においては前年度比で932万円程の増加となりました。

派遣では、特に就業延人員が大幅に増加し、契約金額は前年度比728万円程の増加でした。

その結果、請負・委任と派遣業務を足した契約金額合計は前年度比1,660万円程の増加となりました。

派遣業務が増加となった要因は事業所等に対し、令和元年度より始めた「派遣事業のチラシ」の配布がある程度浸透したことが新規受注に繋がってきていることと、保育補助及び児童クラブ補助について関係団体等からの依頼が新規であったことなどが挙げられます。

これからも、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員、役職員一人ひとりがシルバー人材センターの意義役割を自覚し、各々の経験と知恵を活かしながら、一般家庭、事業所等に対するシルバー事業のPRを積極的に推進するとともに、就業機会の一層の確保を図るなど、センター一丸となってシルバー発展のために力を注いで取り組んでまいります。